

成田西陵高環境建設科土木コース 大和田機場 来訪

令和元年6月14日（金）、千葉県立成田西陵高等学校の環境建設科土木コースの生徒18人が引率の先生2人とともに印旛沼開発事業への理解を深めるため、大和田機場を訪れました。

総合管理所説明ホールにて、「印旛沼開発の歴史」及び「現在の印旛沼の水管理」について説明したのち、大和田機場のポンプ設備を見学していただきました。今回の来訪は、普段授業で学んでいる土木技術がどのように生活に活かされているのかを視察することで、これまでの知識や理解をさらに深め、ひいては進路実現の一助とする目的だそうです。



印旛沼開発の歴史等の説明



大和田機場ポンプ設備見学

生徒の皆さんからは、「ポンプは年に何回ぐらい運転するのですか?」、「ポンプ1台あたりの購入費用はいくらぐらい掛るのですか?」、屋外に展示されている旧式のプロペラについて「重量はどのくらいあるのですか?」などの質問が、引率の先生からは「電動式のポンプには、予備電源が付いているのですか?」といった質問が投げかけられました。大和田機場内部では、普段見る機会が少ないことから、生徒の皆さんだけではなく引率の先生も興味津々で設備を見ていました。

見学後は、印旛沼土地改良区の施設を見学したそうです。大和田機場の見学には、印旛沼土地改良区の職員の方々も同行いただきました。

機会があれば、「一ヶ月に一度行っているポンプ試運転で実際に排水している様子」を是非見に来てください。またのお越しをお待ちしております。



質問にあった旧式のプロペラ